

ハザン省における持続可能な林業の発展とカーボンクレジットの活用

2025年2月10日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ハザン省における持続可能な林業の発展とカーボンクレジットの活用

持続可能な森林保護と発展のため、ハザン省が林業の分野でカーボンクレジットの利点を活用するためのメカニズムと政策の整備に注力している。森林は気候変動の防止や生物多様性の保全において非常に高い価値を持ち、地域社会に多くの利益をもたらすため、森林回復への投資には政府、企業、コミュニティの協力が不可欠である。

森林から生まれるカーボンクレジットは、温室効果ガスの排出削減プロジェクトから生成されるものであり、森林の減少や劣化を抑制し、植林や再植林活動を強化することによって得られる。森林管理者は管理する森林面積を CO2 吸収量に換算し、炭素クレジットとして市場で販売できる。

ハザン省は全国で最も高い森林被覆率を誇り、その面積は 470,103 ヘクタールで約 59% に達する。森林は環境保護、水源確保、自然災害の抑制に重要な役割を果たし、経済成長や持続可能な生計の推進にも寄与している。同省では、森林面積の拡大を目指した施策が実施されており、生産林の中植林や分散植林が計画以上に進んでいる。

また、ハザン省では伐採後の植林プロジェクトが進行中であり、2024 年末までに 90.4% の目標達成が見込まれている。持続可能な林業発展の戦略としてカーボンクレジット活用への取り組みが重要視されている。温室効果ガス排出削減を通じて同省はカーボンクレジット市場への参入機会を創出し、森林からの経済価値向上を図っている。

先進技術を活用した地理情報システム（GIS）やスマート森林管理ツールによって、森林面積の管理と保護が強化されている。また、生態観光との連携も進められ、特別保護区や観光地が地域経済に貢献している。地元住民にはコミュニティ観光モデルや農産物販売など、新たな雇用機会が提供されている。2021 年 10 月 10 日には持続可能な林業発展に関する決議が採択され、自然資源保護と経済発展が同時に推進されることとなった。この決議に基づき、経済林面積拡大や家畜飼育との連携が図られ、市民意識向上のための広報活動も実施されている。

決議実施から 3 年で 22.7 百万本の樹木が植えられ、森林被覆率も 59.3% に増加した。これにより地域住民への新たな収入源も開かれつつあり、今後も国際協力を通じた持続可能な林業発展が期待される。ハザン省は環境保護と経済発展を両立させながら、人々の生活向上を目指している。

以上